

いしかれん だより

第24号
2000. 2

石川県精神障害者
家族会連合会
〒920-0064 金沢市南新保町ル3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

巻頭言

バリアフリー社会推進賞を受賞して



石川県バリアフリー社会の推進に関する条例の定めるところにより、昨年暮第1回石川県バリアフリー社会推進賞活動部門奨励賞の

栄誉に浴したことは、全く面映ゆい限りです。

この条例の本旨は、高齢者や障害者をはじめ県民誰もが安全で快適な生活を営み、あらゆる分野の活動に平等に参加できる障壁のない社会（バリアフリー社会）の実現に向けて県民一人ひとりの協力と理解により、力を合わせて進めていくことを目指しています。

この条例の運用担当課は、県厚生部長寿社会課のようで、その課名から憶測して高齢者に力点が置かれているのではないかと思います。

表彰部門は3部門で施設部門、活動部門、福祉用具アイデア部門です。施設部門、福祉用具アイデア部門はその名の示す通り、施設作り、福祉用具にバリアフリーの理念が如何に活かされているかが評価されるもので、いずれもその結果は構造物、用具といったいわゆる「物」であるのに対して、活動部門の評価対象は「活動」…その状況…その団体構成員の動きのあり方…「人」の動き…「心」のありようが評価されたものと理解しています。

事実、選考過程で再三その活動のどこが？

くろゆり作業所を支える会

会長 田中良弘

誰が？何故に？バリアフリーに相当するのか問われたところです。

私達支える会の信条は“心病む人への正しい理解と協力”“心に優しい街づくり”ですので「バリアフリー社会の推進に関する条例」を意識しての活動でもなく、条例のあることすら知らなかったので「表彰する」との内報のあったときは面食らったといっても嘘ではありません。むしろ、条例制定以前からこの信条を掲げて活動を展開してきたことをいささか誇りにさえ感じております。

聞くとところによれば「心」の部門が難関であったとか。

県内には数百におよぶボランティア団体がありメンタルヘルスボランティアだけでも十数団体近くあるのにと、とても面映ゆい気持ちと同時にその課せられた責任の重さを身に滲みて感じております。第1回であること。メンタル部門では唯一であること。小松市のボランティア団体では唯一であること。受賞後の挨拶まわりでとても喜んで下さった県精神保健福祉センターの清田所長さん、市の木崎社会福祉協議会長さんはこんな視点から評価しての激励だったのだと思います。

ともあれ、受賞に驕ることなく「ばね」として一意研鑽、会員諸兄姉の総意を結集して時代の要請にお答えできるボランティア道を着実に歩みたいと決意も新たにしております。変わらぬご指導ご支援を心からお願い申し上げます。

障害者ふれあいフェスティバル

平成11年10月31日(日)

県産業展示館



会場には、展示コーナー、販売コーナー、相談コーナー、体験コーナー等の他に新たに精神障害者コーナーが新設され、手作り教室、作品販売、パネル展示等で精神障害者に対して、理解を求めました。

当日、手帳のサービス拡大に関する署名運動を実施しており、会場には谷本知事も来られ署名に協力して頂きました。(中農)



(東京からメンバーが演奏に来てくれました)



(知事も署名に協力いただきました)



私は署名の手伝いをしながら感銘を受けたことは、ボランティアの若い女性に署名の勧誘役をやっていただけたことです。お陰で署名客が増え助かりました。なかでも谷本知事一行に快く署名していただき、かつ、激励していただきましたことが力になりました。

(梶)



(作業所作品の展示販売)



私は、このフェスティバルに参加して、とても大切なものを見て学びました。色々な障害を持つ人達が、自分の中のどうにもならない障害とうまくつき合い、自分のカウにとじこもらず、勇気と愛と希望を持って生きている姿にとっても励まされ、私もクヨクヨせず、強く生きて行こうと思いました。私達の生きる力のフェスティバルでした。

(すみれ作業所 メンバー I.T)

ちょっと
お耳を

「月刊ぜんかれん」誌を読んでいますか？

皆様すでに全家連から毎月発行されている「ぜんかれん」を購読していらっしゃると思います。A5版、50頁ほどの小さな月刊誌ですが、病気のこと、家族会のこと、福祉のことなど、わかり易く書かれていて、家中で楽しんで読める冊子です。家庭で読むだけでなく、例会で読み合ったり、新しい情報を話し合ったり、時には、バックナンバーのものを読み返してみたりと、いろいろと活用できます。各家族会を通じて申し込めば1冊250円です。多くの方が購読されることを、おすすめします。

行政との懇談会

病院長との懇談会

11月10日（水）

於）県精神保健福祉センター

午前は家族会主催の行政との懇談会、午後は精神保健福祉協会と共催で病院長との懇談会がもたれました。県健康推進課の春木久男氏から『平成11年度事業の概要』についての説明、金沢大学医学部の東間正人先生から『最新の精神医学事情』についての講演がありました。

それを受けて、各家族会から多くの質問や要望が出されました。すぐに解決できるものばかりではありませんが、家族の思いや要望を伝えていくことの大切さを感じました。以下質問や要望のいくつかをお知らせします。

行政との懇談会で。

*作業所への通所の際の交通費補助を現在の半額から全額にして下さい。

答→他の障害との関連もあり困難

*作業所運営補助金について15～19人の通所の場合2.5人分の人件費補助であるが3人分にならないですか。

答→昨年2.5人分になったところでありす
ぐにとは……………

*作業所やグループホームの設置や運営費の補助金単価を引き上げて下さい。

答→グループホームについては、補助制度はない。作業所については相談にのる。

*県庁の移転に際し、新庁舎に小さい店を開かせてほしいのですが……………

答→現在のところ考えていない。

*収入になる仕事を行政サイドから回しても
られないですか。

答→行政等で各作業所の製品を使うことも考
えている。

*自宅には戻れず、日常生活で多くの支援が

必要なのに生活訓練施設の入所が難しい人
への対応（施設や制度の整備）をどのよう
にお考えですか。

答→救護施設などが考えられる。ケアマネジ
メント検討委員会などを通じて国に報告し
ていきたい。

*平成14年度から実施予定の、精神保健福祉
センターの機能強化に必要な人員配置、予
算措置が図られるようお願いします。

答→当然である。

病院長との懇談会で。

*外国では許可されている精神分裂病の新薬
が我が国では未認可のため、個人輸入をし
ている人もあるそうです。認可に向けて関
係機関へ働きかけて下さい。

答→日本では治験が難しく、まだ認可されて
いない。

*薬についてよくわかる説明書を出してくだ
さい。

答→薬局より出している。

*精神病の遺伝子研究はどこまで進んでいま
すか。

答→一卵性双生児で両方とも病気の遺伝子を
持っていても必ずしも発病するわけではな
いので、一概に遺伝とはいえない。

*主治医が、診察の時カルテばかり見ていて
自分の顔を見てくれないと聞きます。診察
の時は本人の顔を見て下さい。

*専門職員による心のケアを手厚く行ってほ
しい。また大学病院に精神科専属のケース
ワーカーを配置して下さい。

答→望んでいる。

（浦田節子 記）

原稿依

いただいた時に、

は一瞬、間違いではない

口の見えない不安と絶望の毎日

ロボロになって嬉しかった事などあった

れ振り返ってみれば子供が病気になるなけ

ました。いろいろな面で成長させていたた

た甲斐がないから。心根の優しい娘に、感

いと思います。今はまだ一日の大半を布

と今に喜びと感動にであえそうな嬉しい予

同志にめぐり会えた事が又、嬉しい事の一

評もなく受け入れてもらえた事が大変、如

気持ちがみられ嬉しいですね。(H.K)

頭が白く

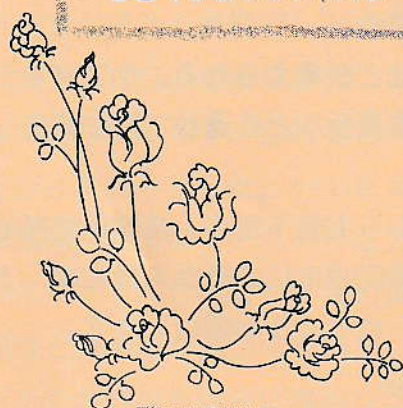
なってから、母さ

ん大丈夫かいや!と気遣って

くれ、副食の買物なども

してくれるようになった

ことでしょうか。(K氏)



長い日々、

彼と一緒に生

活し、苦しい事・楽し

い事が沢山ありました。

この先も一日一日を大切

に皆様と共に立ち上がっ

て、頑張りたく存じます。

合掌

(H氏)

高松の施設を家族の方と見学に参

りました。初めての事で目を見張るこ

とばかりです。すばらしくなっているので驚

きです。とても楽しかったです。家

族会には毎回参加しようと思ってい

ます。皆さんとの出会いは息子のお

陰です。(J氏)

あらしのあ

とにでるやさしい

一言“手が痛いや

ろうし茶わん洗っ

ておく”

娘はうつ病、私はリ

ュウマチです。そんな二人

が、病気の悪いときは、

いたわり、励ましながら

頑張っています。二

人は病気だからこそ、

おたがいの気持が、わ

かりあえたのだと、今

は思ってたのしく暮ら

しています。



最近、自信がついてきたのか家の
中でも積極的に気分を向いた時、味
噌汁が作ってあったり掃除機をかけてあった
りです。

先日、子供の友達が出来た時、「寿司
買って来い」と1万円を出す。結婚して初
めての出来事。

子供は思わず「どうしたん……？」

私も子供もびっくり。主人はテレクさそ
うに笑っている。本当に主人に何度もあり
がとうといっている私。その度にテレ笑い
している主人。

皆様のおかげで仲間が出来た。友達が
出来たと喜んでいる主人をみて、私もうれし
い。ありがとうございます。(K.T)

一緒に暮

楽しかったこと



私

去年より

イケアに楽しく通

通所する様にな

障害を持って頑張

けじゃないと心に

又、保健婦さん

心遣いにふれ、少

デイケアの仲間の

してくれます。

先日の事です

のこのたった一言

た。

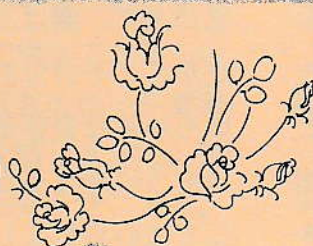
頼を
このテーマ
かと思いました。出
に自分も又、身も心もボ
だろうかと。それでも年月が流
れば気付かなかった事が沢山あり
こう。それでなければ病気になっ
て謝をこめて「ありがとう」と伝えた
日の中で過ごす状態ですが、きつ
感がしますし、同じ悩みを抱えた
一つです。肉親には何の偏見や批
判しなかったです。又、近頃は労りの



三男が一
昨年夏よりデイケ
アに参加、その11月にいずみ
の弁当へ母をマイカーで送った事から
配達を手伝うようになった。お
陰で家庭内空気も一段と明るく
なり、いつそんな風になれるか
と思っていただけにとても嬉し
かった。(N.S)

自分の
思いと違ったこと
に直面した時にパニックに
なりそうで心配です。
でも親をいたわってく
れるようになりました。
少しずつ成長してくれ
ている事が嬉しいです。
(M氏)

らしていて
うれしかったこと



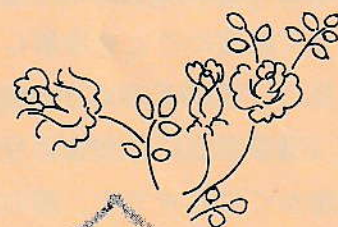
振り返
れば、長い苦汁
の道でした。心痛む子を
責める前に、自らが悔い改め、温か
く広い心で包んでやるのが肝要と
努めています。

その息子も、今は元気で作業所通
い。その後ろ姿に、幼いころの姿が重
なります。

焼きつくは陽光うら春の日に
ランドセル背負う姿なりけり

(T.K)

夜おそく
帰る日が続いたとき、
帰るといつも娘が「おかえり、ご
飯出来てるよ」と言ってくれました。
「いつもあんたに助けて貰ってるね」
と言うと「あたりまえやろ、家族なん
やから」。家族はわずらわしいと言っ
ていた娘から、家族やから助け合うの
は当たり前と言うのを聞いたとき、疲
れもふっとんでしまいました。



の息子は、
週二回保健所のデ
ンタリしています。
り、初めて多くの人が同じ
っているのを知り、自分だ
裕が持てて来た様です。
まわりの皆さんの親身な
づつですが明るくなり、
達の事など、生き生きと話
「弁当、おいしかったよ」
嬉しさで一杯になりまし
(T.M)

退院して
金沢の施設に4年
入所していますが、家に帰ると
以前に比して会話も出る
様になり弟夫婦2人の
子女とも接し休日にゲー
ムで遊ぶのを楽しみにし
ております。

入退院を
繰り返していた数
年前から息子はもう絶対入院
はいやだと言い出した。
入院療法から自宅療法に移っ
た今息子は好きな絵や詩を創作
している。新聞に投稿したとこ
ろ詩が掲載された。この喜びは
息子も私たちも、とても嬉しか
った。(Y.T)

平成11年度北信越ブロック家族会研修会に参加して

(小松 青葉会 M 森田)

今年の大会は新潟県の湯沢温泉でありました。ここはスキー場のメッカです。おもに関東方面のスキー客が来ます。僕は初めてでしたが雪が降ると綺麗でしょうね。さて、僕達は大会2日目の昼から参加しました。僕と太田さんはいり菓子、昆布などの販売活動で1日目が終わりました。いつも大会では宿泊が相部屋になるのでいろいろな人達との出会いがあります。この日も夕食の後部屋に戻りお酒など飲みながらつもる話をしていると、ただそれだけでも大会に参加した価値があると僕は思います。僕は初めて家族会大会に参加した時の事を思い出しました。あれは平成8年の秋、栗津温泉でしたか、北信越ブロック大会でさえ、あの参加人数です。沢山の家族の人達それぞれの思いを、肌で感じてうれしく又、親としての心の病気に対する考え方、願い、親達がどれほど苦しみ悩んだ末、家族会に入って僕達のことを理解しようとしている姿を見て、涙がぽろぽろと出ました。僕は全精連（当事者会）の大会より全家連の大会の方が暖かくて好きです。親の愛は海より深くチョモランマより高いのです。

9月11日の最終日は朝よりシンポジウム「21世紀の精神保健福祉を考える」がテーマでした。シンポジストでは、我らの親分こと中田なみ子所長が石川県代表として「施設の立場から」と言う、話をしました。家族会の人達は良く勉強してますから、質問コーナーでは福祉行政の事などつつこんだ意見もでます。前は家族会の人とあまり話もできなかったけど最近は冗談のひとつも言えるようにな

ってきました。家族会の人と意見を交換できるのはとても勉強になります。「あれえー親ってこんなふう考えるの？」又、親は親で子供はこんな事考えるのと、言うようにお互いに成長できると僕は思います。それも自分の親でなく他人だとなおさらいろいろな事が吸収できると思います。これからも家族会の人達とお話できる機会が沢山あればいいなと思います。親はだれでも歳とっていきます。だからこそ自分が元気のある間に行政などいろいろな要望があるのだと思います。そんなふうにと考えると当事者である僕達もじっとしてはいられないのではと、思います。家族ともども手に手をとってこれからの将来の事、行動を起こす時期がきていると僕は考えています。だから若い親達、病気の子をかかえている親達は一人で悩まないで近くにある家族会に相談したら良いと思います。若い親は仕事などで忙しいけれど、たたけばドアは開かれる、その事を信じてほしい。来年“なごみの郷”がオープンします。なごみの郷が窓口になっても良いと僕は思います。又家族会がいやなら、青葉会もあります。当事者が望むなら微力ながら共に手をとれば良いと、僕は考えています。この大会で感じた事は「年寄りに負けておれないぞー」と言う事です。来年は長野県で大会があると聞いています。又元気に参加できたらいいな。秋晴の空に向かい話しかけると空は笑ってこたえてくれます。そんな秋の良き一日でありました。

家族会活動とピアカウンセリング

平成11年12月8日（水）・9日（木） 於）石川県精神保健福祉センター

講師 東京都地域生活支援センター「スペースピア」の家族相談員

東京都精神障害者家族会連合会 理事

東京武蔵野病院家族会（はすね会）副会長 渡 部 勇 氏

この会は、石家連が平成11年度・12年度に補助をうけた「相互相談・援助事業」の研修会として開催されました。参加者69名は、同じ家族の渡部さんのわかりやすく、家族の思いのしみ出たお話に聞き入りました。当日のレジュメから、家族会の運営の仕方・定例会の持ち方など改めて会員全員で考えたいことを、ここに載せさせていただきます。渡部さんが体で活動して、体で理解されたものです。

家族会活動の3本柱

イ 話合い、聞合い、心の癒し（家族懇談会・家族相談）

ロ 学習（家族教室、講演会、施設見学）

ハ 運動 社会資源、制度の充実を図るために行政に働きかける

家族会の運営

イ 家族会は会員がそれぞれ持っているものを出し合って、お互いに励ましあったり、助け合ったりする会であり、お金のある人はお金を、知恵のある人は知恵を、力のある人は力をそれぞれ出し合い、何もない人はただ参加すれば良い。だから、人にないものをねだってはいけない。

ロ プライバシーを守る。

ハ 人の話をよく聞く。（人が話をしているときは耳を傾け、私語を謹む）

ニ 人の話を批判したり、自分の考えを押しつけない。

ホ アイ（I）・メッセージ（私は……）で話す。

ヘ みんなの前で話したくないときは、パスしてもよい。

ト 一人でしゃべりすぎない（時間を独占しない）全員が発言するようにする。

チ 例会、役員会では司会・書記を決め、司会者を尊重する。

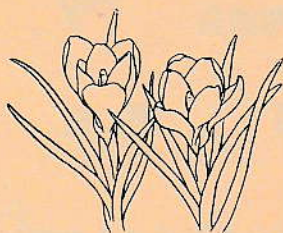
リ 宗教・政治の話をしてしない。

ヌ 家族会を愛し、家族会に情熱を傾ける。何事も喜んで楽しくやる。

ここまで読んでできますと、定例会は、家族同士のピアカウンセリングとあい通じるものが多いのに気がつきます。今年度から12年度にかけて、定例会を中心としたピアカウンセリングの手法を勉強して、家族会に入ってよかったと思える家族会になるよう、会員全員で努力して行きたいと思います。



トピックス



第32回全国精神障害者家族大会

平成11年10月14日・15日 於) 山形市 (山形ビッグウイング)
 本県からは7名参加しました。大会では
 ◆200万人請願署名を成功させ、JR 運賃等手帳サービスを拡大しよう
 ◆欠格条項を廃止し、障害者への制度的差別をなくそう
 等8項目のスローガンの入った大会宣言が採択されました。なお12年度は静岡県で行われます。

三障害合同

「心のふれあい講演会」大盛会！

平成11年11月20日

於) 加賀市民会館

実行委員はじめ各協賛団体の数回にわたる打合せ、資料作り等の苦勞が最良の結果を得たと思われまゝす。講演の中でも、家族会の活動がいかに大切かとりあげましたが、今後は三障害合同で困難に立ち向かっていく時かと思ひます。

小規模作業所作品展示即売会

平成11年12月4・5日

於) 金沢市若松町ジャスコ杜の里

平成11年12月今回は四回目で金沢地区で初めての開催とあつて多くの報道関係者が取材に訪れ、障害者の自立と社会参加に努力している姿を報道されました。

当日、会場において家族会のメンバーが手帳のサービス拡大に関する署名運動を実施した。

表彰受賞おめでとうございます！

(6月) 平成11年度精神保健福祉関係団体功勞表彰

石川県精神障害者家族会連合会

(10月) 平成11年度全家連理事長表彰

みそぎ会 田 畠 作 栄 氏

平成11年度精神保健福祉事業功勞者知事表彰

心 明 会 宮 井 雲 氏

(11月) 第1回石川県バリアフリー社会推進賞

くろゆり作業所を支える会

編 集 後 記

2000年に入つて初めてのいしかれんだより、いかがでしょうか。

前号で『親の自立・子の自立』が好評だったので、第2弾として『いっしょに暮らして嬉しかったこと』と題して特集してみました。たくさんの原稿をお寄せ下さりありがとうございました。

1900年代は2つもの大きな世界戦争があり、資源開発による自然破壊ありで、この地球星は疲れているようです。2000年代は、『人の話をよく聞いて、一人はみんなのためにみんなはひとりのために』の精神で障害者にやさしく、地球にやさしい生き方を模索しようではありませんか。

署名活動県連目標数2万名まであと一步!!

「手帳制度拡充に向けた200万国会請願署名活動」は当県では1月20日現在17,861名の署名が集まりました。目標の8割9分まで来ていますので、皆さん、もう一踏ん張りして署名を集めましょう。